

教員コラム

『花壇を華やかにしてくれた花たち』

准教授 上田 智佳

四月のある日、自宅ピアノ教室に「先生！お花がきれいなね」と言いながら入ってきた生徒がいた。玄関前の花壇は花盛り。この花のほとんどは短大の大学祭で購入した苗。花の水やりを忘れて出勤する日も多いが、いつも元気に花芽をつけて花を咲かせてくれる頼もしい味方。春はパンジーやビオラ、サクラソウ、その次は、ぼたんにバラ、気づくと紫陽花の季節になり、花壇にはペチュニアやサフィニアが咲く。秋はコスモス、そしてまたビオラやパンジーに戻る。大したお手入れはしていないけれども必ずその季節が来ると芽を出し花が咲く。それによって季節を感じさせてくれる。家の前の山では季節の鳥が鳴いているし、虫の声も聞こえる。庭ではセミが鳴き始めました。雨が降り始めると土やアスファルトの匂



いも変化する。そういった自然との関わりは、表現の世界ではとても大切なこと。みなさんもほんの少し自然に目や耳を傾けてみませんか？

授業紹介

『子ども家庭支援の心理学』

特任助教 奥田恭子



授業では、保育の現場で保護者を支えることの大切さについて、心理学の視点から学びます。保育者は子どもの成長を支えるだけで

なく、子育てに悩んだり不安を感じたりしている保護者にも寄り添い安心して相談できる関係を築くことが求められます。そのために必要なコミュニケーションの方法や支援の仕方を身につけます。また、家庭のあり方や子育てを取り巻く環境は、時代とともに大きく変化しています。この授業では、現代の子育てが家庭が抱えるさまざまな課題について理解を深めます。虐待の予防や子育ての孤立、日常的な育児の悩みなどを取り上げ、事例をもとに考えたり、ロールプレイングを行ったりしながら、実践的に学びます。